

協議事項 1 (1) 計画本編について

※本計画は、今後の柏市の健康づくりの施策の大きな方向性や方針を示すこととし、具体的な事業については記載せず、関係各課・関係機関と連携を図りながら取組を検討してまいります。

「ライフコース」について

- ・人が生まれ、育ち、働くという人生の流れ、人生全体を捉える視点であること
- ・「人生」「生涯」などの分かりやすい表現が必要である
- ・自分事としての一生涯を考えられる大事なキーワードになるため、市民が自分自身の人生のこととして考えられるような表現にしてほしい

資料 3 (P 4 2)

第 3 章 第 2 次柏市健康増進計画の基本的な考え方

7 施策の展開に向けて

(1) 重点分野・ライフステージ

市では、「人が生まれ、育ち、産み・育て、老いていく」という人生のつながりの中で、健康づくりを連続的に進めていくことが重要であると考えています。ライフステージは、「乳幼児期・学童期・思春期」「青壮年期」「高齢期」の3つに整理し、各ライフステージでの健康づくりの取組が次のライフステージにつながっていき、人生がより健やかで豊かなものとなるよう施策を展開していきます。

特に、女性はライフステージによって女性ホルモンが変化する特性があり、人生の中でのライフイベントや性別役割意識の影響を受けやすい状況があります。そのため、生涯にわたってきめ細やかな支援が必要であると考え、重点分野のひとつに「女性の健康」を位置づけ、取組を強化していくこととしました。

基本目標を達成するため、7つの重点分野(①栄養・食生活、②身体活動・運動、③睡眠・休養・こころの健康、④喫煙・飲酒、⑤歯と口の健康、⑥発症予防・健診・重症化予防、⑦女性の健康)を設定し、分野間での連携を図ります。

「ライフステージ」について

- ・ ライフステージとして一括りにせず，取組を考え，人それぞれに多様な生き方の人生があることを明記する
- ・ その人の人生の在り方に寄り添った形で健康づくりの機会を持てるように支えていくことが必要である

資料3（P42）

第3章 第2次柏市健康増進計画の基本的な考え方

7 施策の展開に向けて

（2）目標を達成するための取組

7つの重点分野に対して，ライフステージ別に「市民の取組」を整理した上で，「市・関係機関の取組の方針」をまとめることで，主体別の取組を分かりやすく記載しました。

なお，各ライフステージの中においても，一人ひとりが多様な生き方や人生を送っており，生活習慣・健康状態・生活環境や価値観なども様々です。

このことを前提として，個別性や多様性に寄り添いながら，誰一人取り残さないよう，関係機関と連携し，多面的な支援を展開します。

「女性の健康」について

- ・ 女性は男性に比べ，就業・結婚・出産などライフコースの多様性が高く，ライフステージごとの影響を受けやすい
- ・ 女性の健康を社会全体の課題として捉えていく必要がある

今回，事前意見をいただきましたので，「資料1」P5にてご説明いたします。